

科目名	英語6A (Reading 6) A	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	阿部 聡	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-3-130161	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	英語の運用力、とりわけリーディング能力を向上させることを目的とし、本授業ではリーディングストラテジーに焦点を当て、英語の読解力向上を目的とする。また、学習者（学生）のニーズに応じてTOEICの模擬問題やニュース記事など教科書以外の教材を用いて、授業で身につけたリーディングストラテジーを応用することも目的に含める。				
学修到達目標	2年次までに習得した読解力を多くの英文を読むことによってさらなる向上を目指す。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Unit 11 Summarizing the Ideas
第2回	Unit 12 Searching for Information
第3回	Unit 13 Using Illustrations and Photos to Aid Comprehension

第4回	Unit 14 Read Between the Lines
第5回	Unit 14 Read Between the Lines (小テスト)
第6回	Unit 15 Reading as a Guessing Game
第7回	Unit 16 Critical Reading (1): Distinguishing Fact from Opinion
第8回	中間試験 Unit 16 Critical Reading (1): Distinguishing Fact from Opinion
第9回	Unit 17 Critical Reading (2): Making Inferences
第10回	Unit 17 Critical Reading (2): Making Inferences
第11回	(小テスト) Unit 18 Reading for Pleasure
第12回	VELCテスト
第13回	Unit 18 Reading for Pleasure

第14回	Unit 18 Reading for Pleasure Unit 19 Understanding News Styles
第15回	Unit 20 Assess Your Achievement まとめ
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間：Forms（など）への解答記入（部分的な和訳の課題やTrue/Falseの解答）を含みます。
【復習】時間・内容	1時間：予習時に不明だった点を中心に、読解過程の再確認をする

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】 定期試験=25%、小テスト・課題=40% その他=中間試験25%+VELCテスト10%
フィードバック方法	点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。なおVELCテストの結果は成績に10%反映させる。小テスト、課題は採点し講評を加えて返却する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	Reader's Ark20 Treasures of Effective Reading Techniques 英語リーディングの冒険 卯城祐司 / 中川知佳子 / Mari Le Pavoux 著 (金星堂)
受講上の留意点等	言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業は演習形式で行うので十分な予習が必要です。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので十分注意して下さい。辞書を毎回持ってくる。また、ロッカーなどにテキストや辞書を入れたままにすることのないように。忘れずに持ってくる。授業中にPCを用いる機会もありますのでこちらも忘れずに持ってくる。受講生の事前学習状況などにより、シラバス通りには進まないことがあります(講義ではなく演習であるため)。この点は留意してください。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B

科目名	英語6A (Reading 6) B	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	田中 敦	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-3-130161	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	グローバル化と多文化共生が進む現代社会において、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につけるため、英文読解能力の向上を図る。 現代社会の様々なテーマを扱う英文テキストを精読し、内容を理解するとともに、自ら問題を考えることを目的とする。また、読解に必要な基礎文法の確認や、リスニングの練習も補完的に行う。				
学修到達目標	英文の読解力向上を図り、辞書を用いて正確に文章を理解する能力が身に付く。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス（授業の進め方、成績基準、教科書の内容、等） 英文読解の方法について（スキミング、スキニングの方法）
第2回	Unit 13 Japanese Hospitality 本文読解、内容理解問題
第3回	Unit 14 Tax 本文読解、内容理解問題

第4回	Unit 15 Returns 本文読解、内容理解問題
第5回	Unit 16 Healthcare 本文読解、内容理解問題
第6回	Unit 17 Vending Machines 本文読解、内容理解問題
第7回	Unit 18 Toilets 本文読解、内容理解問題
第8回	Unit 19 Rapid Transit Systems 本文読解、内容理解問題
第9回	Unit 20 Cables in the Sky 本文読解、内容理解問題
第10回	Unit 21 Tissue Marketing 本文読解、内容理解問題
第11回	VELCテスト
第12回	Unit 22 PDA 本文読解、内容理解問題
第13回	Unit 23 Love Hotels 本文読解、内容理解問題

第14回	Unit 24 Faces of Japan 本文読解、内容理解問題
第15回	総復習
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間：教科書の英文を読んで不明点を調べる。
【復習】時間・内容	2時間：授業内容を踏まえて内容を復習し、理解する。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験の成績を60%の割合で成績評価に反映します。 また、定期試験の他に必要に応じて小テストを行い、授業での発表状況と合わせて30%の割合で成績に反映します。 さらに、全学共通のVELCテストのスコアを10%の割合で成績に反映します。
フィードバック方法	小テストについては採点のうえで返却し、解説を行います。 定期試験の解答例は、ポータルサイトを通じて掲示します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	Enjoying Different Cultures (グローバル化の中で学ぶ日本文化), 南雲堂
受講上の留意点等	授業には毎回必ず辞書(電子辞書も可)を持参してください。通信機能付き端末(スマートフォン等)の使用は不可とします。また、各回の授業内容を確認のうえ、必ず予習をして授業に参加してください。授業内容はシラバスと前後する可能性があるため、予習箇所については授業中にも説明します。
JABEE	関連する学習・教育到達目標: B

科目名	英語6A (Reading 6) C1	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	本間 多香子		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-3-130161	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を養う。多岐にわたる科学的なテーマの英語に触れながら、読解力を主に身につけることを目指す。合わせて、単語、文法等の定着を図る。				
学修到達目標	英文を文法、単語等の知識を駆使し、文章を正確に読み取ることを到達目標とします。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Unit 10 Lazy Ants
第2回	Unit 10, Unit 11 (Almost) Vegetarian Bears
第3回	Unit 11

第4回	Unit 12 Animals and Earthquakes
第5回	Unit 12, Unit 13 LiquiGlide
第6回	Unit 13
第7回	Unit 17 Enceladus
第8回	中間試験
第9回	Unit 17, Unit 18 The Ninth Planet
第10回	Unit 18
第11回	Unit 19 Dyson Sphere
第12回	VELC テスト
第13回	Unit 19, Unit 20 When Will We See a Great Comet?

第14回	Unit 20
第15回	これまでのまとめ
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。教科書の本文を読み、問題を解く。
【復習】時間・内容	1時間。間違えたところを中心に復習する。

成績評価	
評価基準・方法	中間試験25%、期末試験25%、小テスト30%、VELCテストの結果10%、授業への取り組み度10%で評価する。
フィードバック方法	小テストを採点して返却し、解説をする。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	Jonathan Lynch、委文光太郎 : Science Finder (成美堂) 配布資料
受講上の留意点等	授業中の私語は言うまでもなく厳禁です。注意してもうさい学生は退室してもらったことがあります。授業は演習形式で行うので聴講学生は十分な予習が必要です。毎回辞書を持参してください。遅刻2回で欠席1回とします。欠席5回以上で試験資格を失うので十分注意してください。
JABEE	関連する学習・教育到達目標 : B

科目名	英語6A (Reading 6) C2	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	秋 孝道	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-3-130161	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	国際理解とコミュニケーションに必要な英語力を高める。英語のリーディング能力を高めるためには、文法項目の強化と定着化が必要です。そこで、簡単な英作文問題を解きながら、文法項目の復習を進め、リーディング問題に取り組むことにします。各ユニットでは、親しみやすい様々な話題の英文を読み進めていきます。				
学修到達目標	基本的な英語力を利用して、英語の文章を読解することができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス 英語の様々な文型
第2回	Unit 13 税金の集め方
第3回	Unit 14 見た目と中身

第4回	Unit 15 ストレス対策
第5回	Unit 16 現実社会・仮想現実
第6回	Unit 17 ステレオタイプの考え
第7回	Unit 18 プラスチック払い
第8回	中間試験
第9回	Unit 19 防犯カメラ
第10回	Unit 20 ガラパゴス化
第11回	Unit 21 社会人のはじめと最後
第12回	VELCテスト
第13回	Unit 22 情報コントロール

第14回	Unit 23 人生のんびり
第15回	Unit 24 地球の声 仮定法に関する復習と練習問題
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。配布資料を通じての予習を行う。
【復習】時間・内容	2時間。配布資料の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の他に中間試験と小テストを実施します。全体の評価は中間試験40%+期末試験40%+小テスト10%+VELCテストの結果10%=100%となります。小テストの解説を行います。試験の解答例を公表し、評価について公表します。
フィードバック方法	試験後に模範解答、講評を発表する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	奥田隆一／Anthony Allan著 Writing Points! (金星堂)
受講上の留意点等	言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。学生の理解度などにより、シラバス通りの順序ではなく、変更が生じることがあります。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B

科目名	英語6A (Reading 6) C3	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	恩田 公夫		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-3-130161	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	<p>平明な英語で書かれた文書を読み込みながら読解力を高めるとともに、リスニングや文法のポイントなども学びます。また英語の文章の音読をしっかりとやることによって会話の力もつけるようにします。</p>				
学修到達目標	<p>平明な英語で書かれた文章を正確に読むことができる。英語を正しい発音で音読することができる。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	<p>オリエンテーション：教材の特徴と授業の進め方、評価方法などについて Unit 1: Have I Found Ms. Right? (出だし) の学習</p>
第2回	<p>小テスト Unit 1 (中間) の学習</p>
第3回	<p>小テスト Unit 1 (後半) ~Unit 2: How Good Is Your Memory? (出だし) の学習</p>

第4回	小テスト Unit 2 (中間) の学習
第5回	小テスト Unit 2 (後半) ~Unit 3: The History of Time-Keeping (出だし) の学習
第6回	小テスト Unit 3 (中間) の学習
第7回	小テスト Unit 3 (後半) ~Unit 4: Endangered Species (出だし) の学習 小テストの累計点のフィードバック (1)
第8回	小テスト Unit 4 (中間) の学習
第9回	小テスト Unit 4 (後半) の学習
第10回	小テスト Unit 5 (出だし) の学習
第11回	小テスト Unit 6: What Does a Million Dollars Buy? (前半) の学習
第12回	VELCテスト
第13回	小テスト Unit 6 (中間) の学習

第14回	小テスト Unit 6 (後半) ~Unit 7: Earth's Mysterious Places (出だし) の学習 小テストの累計点のフィードバック (2)
第15回	小テスト Unit 7 (中間) の学習
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予習時間は90分。毎回授業の初めに予習範囲について的小テストを行うので、しっかりと準備をしておいてください。
【復習】時間・内容	復習時間は30分。予習段階でよく分からなかった箇所について、しっかりと理解に努めてください。

成績評価	
評価基準・方法	小テスト：40%、期末試験：50%、VELCテスト10%で評価します。
フィードバック方法	小テストについては途中で2回、累積点をフィードバックしますが、返却はしません。小テストの正解例は、授業の中で明らかにします。 期末試験については、試験後に模範解答、講評を発表します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	Neil J. Anderson: Advanced Skills for Reading (成美堂) 1700円 (税別)
受講上の留意点等	授業では予習を重視し、予習をどの程度しっかりとしてきたかを確認するための小テストを毎回行います。授業には必ず辞書を持参し、分からない単語はすぐに調べるようにしてください。
JABEE	関連する学習・教育到達目標 : B

科目名	英語6A (Reading 6) C4	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	大竹 芳夫		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-3-130161	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	日本とアメリカの生活、文化、教育、習慣、思考様式の共通点や相違点について取り上げる英語教科書を読み、読解力を高めるとともに、テキストの音声CDを活用してシャドーイングを実践しながらリスニング能力の向上も目指します。TOEICやTOEFLのスコア向上に役立つリスニングや文法のポイントなども学びます。また、日常生活を場面ごとに取り上げるDVD教材を活用し、英語音声の特徴に留意しながらスピーキング能力も高めます。				
学修到達目標	英語文章の内容を正確に読み解くことができると同時に、日英語話者の文化や発想の相違を理解することができる。				
実務経験との関連性	公立高等学校教員としての経験をもとに、高等学校と大学の円滑な接続を意識した英語教育を行っています。				

授業計画	
第1回	1. オリエンテーション：教材の特徴・意義と使用方法、授業の進め方、評価方法などについて
第2回	2. リーディング用教材 (The Metric System (1)) + DVD教材に基づく学習
第3回	3. リーディング用教材 (The Metric System (2)) + DVD教材に基づく学習

第4回	4. リーディング用教材 (Police (1)) + DVD教材に基づく学習
第5回	5. リーディング用教材 (Police (2)) + DVD教材に基づく学習
第6回	6. リーディング用教材 (Seasons) + DVD教材に基づく学習
第7回	7. リーディング用教材 (TV Sports) + DVD教材に基づく学習
第8回	8. 第2週から7週までのまとめ, 効果的な英語学習について
第9回	9. リーディング用教材 (Business (1)) + DVD教材に基づく学習
第10回	10. リーディング用教材 (Business (2)) + ビデオ教材に基づく学習
第11回	11. リーディング用教材 (Jobs) + DVD教材に基づく学習
第12回	12. VELCテスト
第13回	13. リーディング用教材 (NHK vs. PBS (1)) + DVD教材に基づく学習

第14回	14. リーディング用教材（NHK vs. PBS（2））+ DVD教材に基づく学習
第15回	15. 第9週から14週までのまとめ、今後の英語学習について
第16回	16. 定期試験+その他

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。教科書の前週に指示された部分の予習をする。
【復習】時間・内容	2時間。教科書の学習した内容の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】定期試験60%、適宜行われる小テストと発表内容30%、VELCテストの結果10%として成績評価します。自発的発表報告は内容に応じて加点評価します。
フィードバック方法	発表内容にはコメントによるフィードバックを与え、小テストは点数分布を授業で公表し、全体の講評をすることで学習内容の理解を深めます。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	プレゼンテーション
教科書/参考書	George Truscott et al.: Eye on America and Japan. 出版社: 南雲堂, 1,800円+税
受講上の留意点等	英和辞典(電子辞書も可)を授業時に持参してください。 各回の準備学習の具体的内容については初回授業時に指示します。
JABEE	関連する学習・教育到達目標: B